やイギリスでは優遇措置 なっていない。アメリ

2活動分野が12分野に

これに

ふくてっく会員

アがとりはず

ウンセラー

される人とのバリアとは

ばバリ

ので、

住宅の人たちが忙

にどのようにして根

付

金 扱

# 総会

### 〇法とボランテ 記念講演 ば資格は得られる。 3諸外国では届け ズマンなどはどうなるの てはまらない市民オンブ 今後の課題となる。

 $\widehat{\pm}$ 平 成 10 年 5 月 9 日

牧 里 大阪府立大学 社会福祉学部教授 毎治 氏

心を持たれているそうで のような領域に、特に関 けている、日本名でライ トアドバイザ ている。 歩前進ではないかと考え という意味に とって社会的認知を得る 社会的に認知を得ると お いては

サポー

送りとなっている。 税制優遇措置はなく、 説していただいた。 配付された資料に基づ NPO法について (NPO) 法とそれ 巻く環境や諸外国 Oなどについて、 特定非営利活動 法による法人の たと の 続性が計られる。行政かど 体資産となり、活動の継近体として個人資産から団 のや松下電器などの財団か 出来る。また、大阪ガス 先として独立した活動が の受け皿に成りえる等の らの助成金など出す場合 らの調査委託など、 いうことは、 独立した団 委託 議会

取 進

ŋ

て、

る。

講義をしていただいた。 先生のご専門は地域福 NPO法について今 住宅と福祉を結び 一人しかなく、草の根的活えば、社団法人か財団法 動をしている市民団体に のある知事が判断する。 平

ボランティ

の原点を

発足5周年記念シンポジウ

セ

[問題提起]

加者から活動体験を踏ま

えての意見があった。】

ボランティア活動は感

ティア感、活動の仕方な

会場参

して各パネラー

のボラン

なく、

【新開氏の問題提起に対

・自己開発、 した。

企業からの寄付行為が損 えば法人税が免除とか、 いになるとかに メリットが 今後の展望としては、 ある。

う不安

加して何ができるかとい 住宅改造のグループに参

出来たボランティアグ ・住民のつながりの中で

いい方向=

継続

等。

うのではなく、

専門家ボランテイアの

・マスコミなどによく取

する

P

ろが日

いう特異な登録システム 書類の不備がなけれ 書類の審査と12分野 意団体、即ち行政から認 法人を経由して受け取っ まで助成金はある公益 社会的に認知を得た団体 て活動するのではなく、 可されていない団体とし として活動出来る。 している場合、 任意団 補助金など直接行政たがNPO法人の場 体の場合には今

府県にまたがる事務所の が判断し、2以上の都道へ ある団体はその都道府県内に 1つの都道府県内に ふくてっく

《パネリスト》 桑原英文氏 成 10年6

月

6

日

ター》

宇賀神紀子氏 《コーディネー

ほたるの苑主宰 ふくてっく会員

窪田新一氏 ボランティア 兵庫県社会福祉協 ロン淀川代表

は高齢者のグループホー ムとかミニデイ等。 害者共 しやすくなる。 小零細な民間団体に支援 例えば障 最近で 民間 杉浦史郎氏 竹村安子氏 力 開加代子氏 ふくてっく代表 ボランティア 大阪市社会福祉協 的障害者作業所

何をすればよいのか、

めに大 に割かざるを得な

がら活動してい

時間をボランティアのた

よって住民の日常生活の

の人との付き合い方。

ボランティアす

る人と

・神戸でも、

土日に訪問

佐藤

くなった

ボランティアが集中する

セ

ティアに何処から取り組 り上げられているボラン

ランティアに行くことに ・三国町の重油災害のボ

る。

んだらよい

0)

障害

 $\mathcal{O}$ 

ある人のために

なる任 |ていく団体であれば、そ タント業など事業運営し ボランティア、 が れなりにメリット して色々考えられるが、 ネルギー やすくなり市民活動のエ 認知を受けた場合に市民 でてくる。 と取引できるメリ NPOとしては、事業と 安心して参加活動 また、社会的 コンサ 皿になり ツ がし

が、それ以外ではメリ だろう。 トはあまりないと言える がある ッ 成を維持し

事から除外する旨、

記 敬

した。 員が出席して開催されま 記念講演の後、 5月9日牧里毎治先生の 平成 10 年度 常総会は、 41 人の会

度精査する事になりまし 法など、若干の修正動議 が採択にかけら 案として、 がだされ、 が前年度繰越金の計上 動状況報告と同決算報告 に選出し、 冒頭に杉浦代表を議長 まず第1号議 務局にて再 れました なる。 ・ボランティアは救世主 ではなく、そうとは思わ

氏を初期診断 八木八朗・牧野展元の両 谷阪会員を理 担当理事と 採択 んでしまった。

· 今、

第3号議案で、 平成 10

の 記

告する事で了 て再度精査の上、

杉

ば見ている子供もしたく 行くボランティアであれ 状況が起きて た方が楽で続く。 ・道楽気分で活動してい 喜んで 直 らな るかが 接の 援 大切

フラット化、をボラン ・平野区の依頼者の ンティアといわれた。 床の ランティアが必要。 ティアが必要。 活動しやす ٧١

野山

ボランティアの

有

える

きりした組織ではなく、

は。

縦割りの区分けのはっ

と広げることを

試みて

女性の活動の場をもっ

ぼんやりしたボヤンティ

・ホームヘルパーさんの

|団体への啓発活動とし

出前の講義の実施な

【コーディネーターから】

宇賀神

ボランティアは手段。

自分のステージをつく

らう。

善の必要性に気づいても どをして、現場での住改 プがいいので

質問があった。】 の有償、無償につい

10年度理事は前年度の構

つつ、新たに

第2号議案では、

平成

の取り付けは工務店に頼 分の父親に必要な手すり ティアでしたけれど、自 ( 笑) 窪田 のの理解をすればよい は難しいが、 ・障害者そのものの理 障害その

というNOVA状態。ボ 態と比べると格段に進歩 う人もいない、という状 ランティアをしようと か、やめよか、考え中」 する一 的水準は「入ろ ボランティアに対 おばあちゃん来ないな、 は、地域に根ざした活動 ・ボランティアでなにが と話せるような活動が持 をすべき。このごろあの できるかの答えとして

・バリアはハードだけで ・何かをしたいというボ なくすことも必要。 喜びがボランティア。 ハートのバリアも 自己実現、 い。根付かない。 国町や神戸へ遠くか 行ってやるのは、 住んでいる場所でする

くれるだけでよいのに、 アという考えで、 があることも事実。何か 具体的な作業をしてもら 助けるのがボランティ 話をして 凝り固 ティアになる。 らえる。 して参加することでは何 ていると結 としてボラン よって相手も楽しんでも ボランティア そんなことをし

ティアとしては地域の中 ・知的障害者へのボラン の目的が何かを確認しな ・ボランティアグルー 誤ることがある。 かない 満 ・物ができるという自己 動をしている人たちが、 紙や 真でボランティア活 やってみようと思った。 本当に楽しそうに活動し 息子 足、 いるのを見て、 が送ってくれた手 自分も

したが、 年度予算案が審議され 1号議案同様に

第4号議案では、

5周年

付き合

刺

したいという気持ちがあ

ことも検討したい。

るかもしれないが受ける。・インターネットホ

側の気持ちを考える視点 |ページなどでの情報交換

中北

激を得られ ・若者との

がありましたが事務局に 精査不十分なる旨、異議 補正報 ました。 年度事業計画が採択され 記念事業を中心とする本

いう感じであった。こ

ボた

を伸ばすグループになっ 組みたい

ンティアグループが出来

新しい似たようなボラ 廊下 (老化)」の演劇や音

る会、

演劇部での「松の

た時も一緒にやろうと手

会内の親睦活動にも取り 楽同好会、歩こう会など、

中ん

・老人を援助する対象と

・のれんを守ることが

てほしい

窪田

なにか抜けていると

交流をしてほしい。

・企業ボランティアとの

・会員同志の親睦を深

をしていきたい。

をしているつもり

を

じて社

会貢

も必要。

ボランティアがほしい。 時に間にはいってくれる は食事を直接作るだけで 食事作りをするために 社会と接する 助はそれほど 共に高いことをして 足度と社会的な満足度 やりしていて、仕事の 活動に参加して、その な仕事もある。自分の にもボランティアみた ランティアの区分はぼ と感じている。仕事と けていたものが埋ま

すにやったら、結 がボラ はなく、 物も含めて)をつくるボ ゆるサポー その周辺のあら トのボラン 環境(建

【会場からボランティ

竹村

動をしてほしい。

かんで自立を援助する活 |・過去の施工先の点検活

の ア

はいったボランティア活 ・ふくてっくは専門家が

三浦

参加しやすいのでは。

なら専門家でなくて 動をしてはどうか。これ

動が特色。

たい。

満

|恵を借りる人との見方も||ループにならないでほし||してみるのではなく、知||大の活動というようなグ

き

求められるニーズをつ

佐藤

必要。

<u>£</u> 0) 解 か。 杉浦 無償についてどう考

めている内容にギャップ ランティアと、相手が求 ・自分が楽し 割を変えていってはどう ボランティアが理想。三 物造りから人造りへ役 むことに 続かな 5

まるのも困るときがあ も得られない。 ふくてっくは有償

ボラ

は

にいっておられることが てこられた方たちが、共 氏、竹村氏など、ボラン

桑原氏、窪田氏、佐藤

【印象に残ったこと】

ティア活動に深く関わっ

る

コミュニティーをつく 共に考え解決する。 流

3 自己実現の場。

2立場の違う人との

交

陽をあてる。

る

1 埋もれているニーズ

【ふくてっくの ることが出来ない。 ンティア方式をとっ 無償では活動を つい て提案が 今後 あ の けい

つ 活 る。

しろ た。] 桑 原 専門家として技術 。 試 ブ 杉浦

でも今後問題になってく /ズマン的な役割を たす介護機器、用品のオン

いってほしい。他のボラ ンティアグループの活動 る。

アの研究をもっとして 有償活動のボランティ 2 ボランティアとはこう 否は地域との密着性にあ 1ボランティア活動の成 あった。

るのではなく、 いうものと決め付けてや お手伝

の延長。 (記 木村 多加緒)

解かったからで

人がいた。

参加した。

絵の所に

曽根利弘氏

## 子供と共に親も夢中に

## 子供木工教室開催

萩野光

で子供大工教室開 大阪市こどもカーニバル で「大阪市こどもカー 4月 26 日大阪城公園 注文がきて思わ いてきて、 などとっぴな、中をくり い ずそ

供会事務局発表) であっ 市民局青少年対策課子 供大工教室に参加した。 念事業の一環として子 ふくてっくは五周年記 13、000人(大阪市 バル」がひらかれた。 総数 多い。 が見学 たほうがいいね。」 親が夢中になって子供 返っていたという印象。 んの子供たちで溢れ 親と会場を分け している場合が

こども参加

「初めて の方に 野山泰一氏「感心したのは、あれだけの人たのは、あれだけの人がいて長いのこぎりやな夢中なのに大きな怪のなみん こと。」

ひとことインタビ

ユ

今回は参加者

やってみると楽しいとく絵を描くだけだが たけど2回3回と来た ただ思い はな 9 大きな鰹の 知らない人が多かった 親も道具の使い方を しい五月晴れだったネ。 がっていて、 がっていて、すがすが 人きな鰹のぼりが揚 して、会場は

佐藤宣三郎氏「子供 板に星を描 おもしろている創造 ね。 親はいないほうがよ が全員の声だった。 新開 加代子)

たちがもって

や発想が



ボランテ イアの原点を実践 В С 返しのように思えるので

ジを合わせて、 А 西宮市Nさん 93 歳 6畳の和室とガレー 女性 とをご本人はご存知です |初期診断者「増築するこ |に適用しやすいタイプで から大丈夫です。」

室・便所の部屋を増改築

か?

である。 立しており、とても元気 入 症状が少しあるが、食事・ В の4人家族。本人は痴呆 浴・排泄・散歩等は自 本人と娘夫婦と孫娘 の時ご本人は、親類の家 現在週1回のデ 娘さん「・・・」 ですけど。」 知ったら傷つくと思うん 初期診断者「このことを に行っており、留守。)

目が届きにくく介護も 屋を増築すると、家族の 近い和室である。 希望 り С にバス・トイレ付きの部 本人の部屋は玄関に 初親診断者 くれたので、 |す。」と、助け船を出して い率オーバーになるんで

イサービスに っている。

にくくなってしまう。 会話の一部を再現する きません。」とお断りしま なるので、

初期診

聞きますけど。」

と痴呆になりやす 娘さん「うちの母は環境 には、急に環境が変わる 断者「高齢者の いって の母親に対する愛情の裏 かもしれませんが、そう いことを、と思われる ではなく、これは娘さん 実の娘がなんてひど うのを今回初めて知りま 気すぎてしんどい、と のはよく聞きますが、元

タキロン株式会社 協賛会社の紹

に、塩素系可塑剤を含ま 全な空間づくりのため 施した防滑性の床材、さ 床材や、表 に凹 処理を ないポリオレフィン系の 床材事業部 タキロンは、 快適で安

などを制作されて らげる弾力性のある床材 いま たたなかったかもしれま

ティアは楽

んでおられる企業です。 材の研究・開発に取り組 を基本に考えながら、 このように、人と環境 床

ニード

解決方法 日常生活と家庭状況 改善後の状況と考察

住宅改造は行わず 返ってきました。 は、娘さんの日頃の努力 かけると、明るい笑顔が の賜物ですね。」と言葉を が元気でいられるの 「90 才を過ぎたお母さ

Α

娘さん「いえ、何も。」(こ 追いつめられていった娘 です。 さんにもケアが必要なの ぜもあって当然のこと。 のだから、 ストレスを溜め込んで、 育児ノイローゼがある 介護ノイロー В しており、現在1人暮し。 者対応住宅に住

夫)が「増築すると建ぺ 結局、ご主人(娘さんの 「違法行為に なる。 るのがしんどい、 ず、あちこちついてまわ ており、トイレには1 うとするので目が離せ 掃除が大変。臭いも気に で行くが汚してしまい 本人の脚はしっかり 何でも自分でしよ とのこ る。現在、ホームヘルパー

お引き受けで をするのが大変だという とでした。 体が不自由な人の世話

振り回されて心身共に

そう言いたかったのじゃ ないかな、と思いました。 かってくれない。本当は 増築するお金を自分の

らに転倒時の衝撃をやわ ストレス解消に使ってみ ました。 ては、と言って帰ってき

初期診断者として役に

るのも大切なボランティ アなんだと思いました。 せんが、話を聞いてあげ

ら、それも立派な成 傷つくだけだということ 増築しても、お母さんが に気づいてくれたとした

思っています。 電話がありました。 務局に娘さんからお礼の \*初期診断の翌日、

(牧野・鎌田)

定例会のご案内

5•6月事務局会議

7月25・26日に開催

23~25日に

A T C に

いて「オール・ザッツ・

|画を練ってきましたが、

10月の手すり展は、

8 月 9 月 日時 定例会は休会

内容 場所 大阪市立社会福祉センター 中部障害者センター

実施します。

8月の当会5周年記念

受けて、子供木工教室を 年事業)への協力要請を 25」 (大阪ガス労組 25 周 される「ふれあいメッセ

する事となりました。詳テスリ」と銘うって開催

しい内容は 途お知らせし

(ナビ事務局長・ピアカウンセラ

日はパパと作ろう」とし した。テーマを「8月8 ビスセンターと決定しま 祭の会場は北区在宅サー

|に検討を始めています。

7月例会の講師は、

日に第1回委員会が開

いよいよ当会も真

剣

NPO研究会は6月

木工教室の他、

ブを使った料理教室・

雅恵氏

ふくてっく5周年記念行事第2弾

日時 「パパとつくろう」

午前10時~午後3時

細は案内記事をご覧くだ 菓子教室を開きます。

|北会員の「北欧視察報 |ので 12 月に変更し、 都合が悪くなりました

とします。

詳 お

場所 北区在宅サービスセンター 「いきいきネット」

料理教室 (午前の部) 木工教室 (午前の部・午後の部)

お菓子教室(午後の部)

みは、 ※参加費等詳細の問い合わせ、

午後1時30分~午後5時 障害者からみた住みやすい家 9月5日

内 容 8月8日 (土)

ふくてっく事務局まで

介護支援専門員

(ケアマネージャー)

お申し込

度におい

いて要介護者等

という本人と家族に対

例えば家を建てたい

して設計図を本人たち

始される介護保険制

平成十二年四月から

である。

を実際に担当する人材

### にもひと 夫

介護サー

ービスを利

用で

きるように市町

事業者等と

身の状況に応じ適切な

び要介護者等がその からの相談に応じ、及

心

と相談して作り、

より

良い材料を選んで、

を建てるアド

バ 家

イスを行うの

平野区のさん 72歳 女性

素材

たは床を高く) してほし|換では取り替え申請に時 洋式便器を低く(まかで検討したが、 便器交 だった。

採用した。 間がかかり大掛りになる 床の嵩上げ方法を 知 · 大和建設・岩本

る。ご主人は施設に入所 市営住宅1階の高齢 ため、 んでい 但しSさんは強度の近

視と強度の近視)で、 し車で室内移動をしてい が弱い)と視力障害(斜 体幹機能障害(特に膝 押性があると判断。 便器前料 はかえってつまずく危険 型のすのこによる嵩上げ のスペースが広いため、 視という障害があり、

スロープで125

がひっかかってしまう点 あり(水はけに と、便座の 置が一 たもの)、押し車の車 居室とタイル床に段差が 問題になったのは、 (車椅子介 配慮し のも 置くことにした。

常の高さのものに置き換 貼って安全性を確

が週2回訪問している。 提案で、素材は 器まわりに台座を さをクリアし、便 初期診断者の トルの高

が浮いてしまう。 柄なため便座に座ると足 点であった。 を想定の為) Sさんは小 座りにくい 構造にした。

現場で削って対応 レンを3枚重ねた 丸み部分に ムポリスチ するよう 便

スも活用 保した。

さを利用して、 の高さを解決したケー スペース

たケース 床と便器 河 術を有するもの専門的知識、技 を営むのに必要 立した日常生活 要介護者等が自  $\mathcal{O}$ な援助に関する 者であって、 連絡調整を行

める者と定義さ して省令で定

ことば・コトバ

活、「設計図」を本人である。このはあくまでも 介 家を建てていく 7護支援専門員7スを行うのが 護サービス計 仕事である。

なサービス)と まざまなサービ 画、「材料」をさ インフォーマ 〈フォーマル・ ル

れている。(介

護保険法第72

条第2項ー

2

置き換えていた

者、 自分らしく生活でき だくとイメージしやす るように援助す いだろう。 私たちが最後まで 介護支擾専門 る

者および介護保険施設 介護支援サービス事業 介護支援専門員は指定

は必ず置かれ、介護

ービス計画を作成し

たり、事業者、施設等

の連絡調整を行うな

介護支援サー

に期待がか

かる。

### 編集後記

カッションで次期 迎えたふくてっく のスター 五歳の誕生日を パネルディス を 屻 (新開加代子)

て行きたいと思 楽しみに広報を頑 りました。 分ち合い、次 その喜びを どうぞよろし の 成 4 W 長をで 張